

委員名*	行番号 (e.g. 17)	簡条/ 細分簡条* (e.g. 3.1)	段落/ 図/ 表/ (e.g. 表 1)	コメント タイプ*	コメント*	修正案	検討結果・対応案
中野		3.3 5.3 3.4 3.5 3.6 3.8 3.9 3.12 3.13 3.14	図 1 図 2 図 3 表 7 表 8 表 9 表 10		現行の JIS と記載方法が異なっており、記載文と表が離れており、見ている人の理解を妨げ、使いにくいと感じた。なぜそうしたのか？ JIS ハンドブックを使う立場としては、文と表は同じ場所に記載すべきと考えます。		素案通りでお願いいたします。この規格は、インサートの呼び記号の各記号がどこなのか分かりやすいことが大事なため、対応国際規格がそうであるように、各記号の説明の近くに図・表を配置しています。 今回の JIS B 0170（切削工具用語（基本））の改正の際に、この規格で定義した用語の追加と、用語の近くに図を配置することを検討したいと思います。
中野		3.4 3.9			すくい面とすく逃げ面を明確に指示する図示がないのでは？ 事務局注記 “すく逃げ面”は原案にない単語であり、逃げ面の誤記と考えられる。		素案通りでお願いいたします。ご指摘の用語は、JIS B 0170 の 1011 及び 1012 に定義されており、同じく図 4 及び図 5 にその位置が示されています。この規格では、記号と強く関係しないこともあって、記載しない方がよいと考えております。